



ゼロカーボンシティ 先進地 宣言

島根県邑智郡
美郷町

美郷町では、ニューノーマルや脱炭素化など未来の社会を見据え、新エネルギー活用・CO₂排出削減などに積極的・先進的に取り組んでいます（主要行政施設等の太陽光発電、電気自動車普及促進、ドローン物流網など）。

令和3年3月定例議会の一般質問への答弁で、嘉戸隆町長は「2050年CO₂実質排出ゼロ（カーボンニュートラル）」を表明いたしました（2021年3月15日）。

また、様々な取り組みに加え豊かな自然環境もあり、町全体では、既にカーボンニュートラルを実質達成済みで、「美郷町のカーボンニュートラル現在地は、2050年より未来」にあるともいえます。（町内CO₂発生量44,700t/年
に対しCO₂削減量211,000t/年）

これらを踏まえ、美郷町は、「ゼロカーボンシティ 先進地 宣言」をいたします。

施策の更なる推進、充実を図るとともに、具体的な目標を定め、将来を見据えて取り組んでいきます。

国では、菅総理大臣が所信表明演説で「2050年カーボンニュートラル」を宣言され（2020年10月26日）、「地球温暖化対策推進法の一部を改正する法律案」が第204回国会に提出されています（2021年3月時点）。

美郷町の取り組み(排出量削減効果)と目標(町内完全循環型ゼロカーボン)

太陽光発電推進(PV) CO₂削減量▲420t/年【実現済み】

「防災拠点整備事業」▲270t/年（2020年比▲80%）

- ・環境省「二酸化炭素排出抑制対策事業等補助金」を活用
- ・庁舎等の主要行政施設・主要避難所へ太陽光発電・蓄電設備を整備し、平時だけでなく災害時電源を確保。

「太陽光発電設備等設置補助」▲150t/年

最大20万円(H20～) 2021年3月時点 51件・290kW設置



500kW 四日市太陽光発電施設



公用車電気自動車（日産リーフ）

電気自動車推進(EV) CO₂削減量▲1.8t/台・年→拡大

「公用車の電気自動車更新」 現在▲3.6t/年→順次削減増

主要車両（約40台）をEV車へ順次更新（2021年度2台）

「電気自動車購入補助」 CO₂排出量削減効果：▲1.8t/台・年

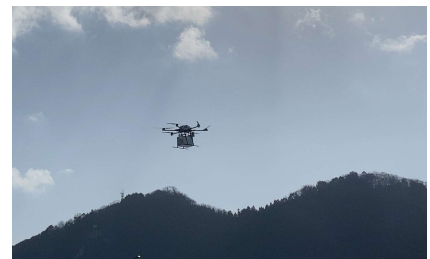
県内唯一：最大45万円（国補助に加算）

災害時は、「動く電源」として避難所電源に活用（災害時協定）

ドローン物流網着手(空の駅) ▲1.2t/台・年→拡大

「ドローンによる町内物流網構築」

- ・佐川急便と提携によるドローン物流網の実証実験を実施
- ・2023年に町内主要施設を結ぶ運搬開始予定
→2023年時点 CO₂排出量削減▲1.2t（2tトラック1台）以降、トラックからドローン運搬への移行拡大により、CO₂排出量は大幅に削減見込み。→ ▲1.2t/年×9台=▲11t/年



ドローン物流に係る飛行試験

未来(目標) 更なる取り組みの推進(町内完全循環型ゼロカーボン)

○現在 豊かな自然環境によるCO₂回収量211,000t（人工森林：71,000/t、水力発電：140,000/t）

○更なる取り組みの推進・目標（排出の削減・回収の維持・拡大）

- ・公用車 順次更新による電気自動車割合 2035年：50%、2050年：（100%）
- ・住民向け啓発・制度の継続・充実（「電気自動車購入補助」「太陽光発電設備設置補助」等）
- ・ドローン物流による輸送排出量の削減と中山間地域物流網の整備 2035年：▲11t/年
- ・森林保全等による排出CO₂回収の維持・拡大

※数値は推計・概算